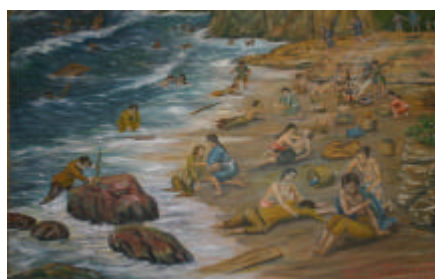




Onjuku 2009

日西墨三国交通発祥記念之碑建立80周年
サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業

企画書



日本とスペイン・メキシコとの交流は約 400 年前に遡ります

1609 年 9 月 30 日未明、一隻のガレオン船が御宿沖で座礁し、多数の乗組員が浜に漂着しました。

船名はサン・フランシスコ号、スペイン領フィリピン総督ドン・ロドリゴを長とする乗客、乗組員の総数 373 名は、フィリピンからメキシコへ向かう途中でした。

残念ながら 56 名は帰らぬ人となりましたが、残る 317 名は岩和田（現御宿町）村民に救助されました。この時村人は大いに同情し凍えた異国の遭難者を海女たちは素肌で温め蘇生させ、夫の着物を、食糧を、惜しみなく提供したと伝えられています。



【サン・フランシスコ号乗員遭難救助の絵】

このことは、直ちに領主である大多喜城主本多忠朝に伝えられ、遭難者たちは 37 日間岩和田大宮寺に滞在し村民の手厚い保護を受けた後、江戸城の将軍、徳川秀忠に謁見し歓待を受けるとともに、駿府城の徳川家康にも招かれ破格の歓待と豪華な贈り物を受けるなど親しく懇談し、翌 1610 年家康が三浦按針に建造させた新しい船で、無事メキシコへ帰国しました。



【ドン・ロドリゴ上陸地】

この史実が、日本とスペイン・メキシコの修好の契機となりました。

我らの祖先のすばらしい行動を後世に永く伝えるため 1928 年に一行が漂着した海岸近くの高台に大理石張りの「日西墨三国交通発祥記念之碑」が建立されましたが、戦時中攻撃機の的になり、見るも無残な姿に変わり果てました。

歳月が流れて 1958 年に多方面からの協力を得て記念碑は、新たにセメントで装われて再び白亜の塔として生まれ変わりました。

その後も御宿とメキシコの交流は活発に行われ、1978 年御宿町とアカプルコ市は姉妹都市協定が締結されるに至るとともに、同年は日西墨三国交通発祥記念之碑建立 50 年であり、建立 50 周年記念式典にはホセ・ロペス・ポルティエリョメキシコ大統領が御宿を訪れ、歴史に培われた友情をさらに深めました。



2009 年は私たちの祖先が行った海難救助から400年の節目の年です



【史実の紙芝居を製作・発表する小学3年生】

当時の御宿の人々が行った偉業を称えるとともに、この史実を歴史の闇に葬ることなく後世に伝えることが現代に生きる私たちの使命であると考え、400年の節目である2009年度をメインとして07年度から09年度までの3年間「サン・フランシスコ号漂着400周年記念」として数々の文化事業（別紙）を展開するとともに、史実を全国に発信し、いわゆる「町おこし」として、本3カ年に限らず恒常的に事業を行い、町の活性につなげていきたいと考えております。

本事業に対する住民の熱意は深く、2007年度に設置した企画実行委員会を中心に、小さな町ではありますが、溢れるようなエネルギーで活発に活動しております。

どうぞ本事業の趣旨にご賛同いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

メキシコ記念塔建立80周年
サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業
企画実行委員会委員長
千葉県夷隅郡御宿町長

石田義廣

企画実行委員会副委員長
千葉県夷隅郡御宿町議会議長

新井明



2008年度事業実績



日西墨三国交通発祥記念之碑建立80周年記念ピアノコンサート

世界的に活躍する川上ミネさんによるピアノコンサートを、スペイン大使館との共催で10月4日(土)に開催しました。

当日はスペイン公使も出席され、ピアノコンサートはもちろん、スペインの生活文化等に関するお話も交えながら、多くの方が一層の交流を深めました。

スペイン料理教室

フードクリエイター松下忠司さんによるスペイン料理教室を11月8日(土)に実施しました。

当日は、食生活改善会の方を中心に多くの方が参加し、パエリア、スペインオムレツ、タラとアサリのバスク風など、スペインの代表的な料理を楽しく学びました。

また、小中学校の学校給食にも定期的にスペイン・メキシコの料理を取り入れ、食の面からの交流を行いました。



日西墨交流400周年イベント

「おんじゅく伊勢えび祭り」と県の「ふるさと満喫フェア」を10月5日(日)に同時開催しました。当日は両国の大使館にもご協力いただき、フラメンコやマリアッチといった民族芸能に触れたほか、御宿の伊勢えびを使ったパエリアやタコス販売するなど、芸能・食の融合を図りながら訪れた多くの方々に400年前の人類愛に満ちた史実や3国の交流関係を伝えることができました。



メキシコ記念公園整備

記念碑が建つメキシコ記念公園の枝の剪定を行い、高台からの眺望を確保するとともに、進入道路の修繕等に取り組み、多くの方が訪れやすく、また将来にわたり末永く愛される町のシンボルとして、景観の整備・保全に取り組みました。

歌曲の創作・夕鶴プロジェクト後援

史実をテーマに、子どもから大人まで気軽に歌え、親しみやすい歌曲の創作に取り組み、2009年において披露できるよう準備を進めています。また、黒沼ユリ子さんがコーディネーターするオペラ「夕鶴」が南総文化ホールで開催され、先人の偉業を広く伝承する意味から、中学生の公演鑑賞を実施しました。

サン・フランシスコ号史実伝承事業・日西墨歴史勉強会

史実を広く周知するため、小中学校の道徳授業の中で、地元の郷土史研究家等による伝承事業に取り組みました。また、2月には千葉大学との連携により、メキシコ文化に関する文化講演会を開催します。

啓発事業・その他事業

地域住民の気運を高めるほか、来町者への周知を目的に400周年記念事業の街灯フラッグを掲げるほか、地元企業の協力によりTシャツや記念酒を製作しました。

また、チラシ・ポスターを作成するとともに、新聞・テレビ等を通じ、広く情報発信に努めました。





2009年度事業企画

400周年記念式典及びメキシコ合衆国大統領の招聘

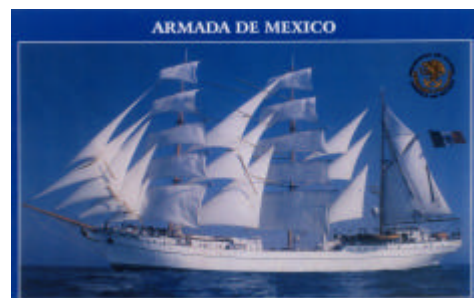
2009年度は400周年を迎える年度にあたりますので、スペイン大使、メキシコ大使、さらには姉妹都市であるアカプルコ市長などを来賓としてお招きし、記念式典の挙行を9月26日に予定しています。詳細については関係各大使館、千葉県、大多喜町と協議・調整を図りながら、企画実行委員会で内容を検討します。



また、2008年7月の洞爺湖サミットの日墨首脳会談において、メキシコ合衆国大統領が2009年に訪日の意向を示されたことから、御宿町への来町実現に向け、メキシコ大使にも招聘協力を依頼し、外務省・千葉県と連携を図りながら歓迎の準備を進めます。

メキシコ海軍訓練帆船クワウテモク号の招致

日西墨交流400周年にあわせ、クワウテモク号が訓練航海として来日し、6月12日から13日にかけて、御宿町に來航する予定です。地元漁協の協力をいただきながら上陸支援を行うとともに、町をあげて歓迎し、一層の交流を深めます。



メキシコナショナルデー「ベラーノ・デ・メヒコ(メキシコの夏)」の開催

マリアッチ楽団の演奏や民族舞踊の公演、さらにはメキシコ料理をご賞味いただける「メキシコナショナルデー」の一日が、メキシコ大使館主催により9月に開催される予定です。町民をはじめ、多くの来訪者とともに、メキシコとの文化交流を深めます。

また、400年前に遭難した英雄たちを讃える彫刻が、メキシコ政府の申し入れにより謹呈される予定であり、ナショナルデーの開催に合せ除幕式が行えるよう、メキシコ大使館と調整を進めています。

スペインピアノコンサート及び「日西墨交通発祥記念碑」への献花

2008年度と同様に、スペイン大使館との共催でピアノコンサートを開催する予定です。また、スペイン大使館からの提案により、日西墨交通発祥記念碑において献花を予定しています。日時・内容等の詳細は、スペイン大使館と調整を進めています。

サン・フランシスコ号漂着400周年記念公募展

史実にちなみ、人類愛や友好親善、世界平和などをテーマに絵画・写真等の平面作品を公募し、全国に向けて史実のすばらしさや人類愛のメッセージを発信するものです。作品は8月間の募集期間を設け、2009年度の記念式典に合わせて入賞作品の決定・表彰を行う予定です。受賞作品等については、月の沙漠記念館において企画展示を行うことにより、史実の面的な広がりに加え、期間的なPR効果や活性の創出を図ります。

記念映像の撮影及び記念誌の発行・その他事業

日西墨交流400周年を記念して、記念映像の撮影や記念誌の発行など、一連の取り組みを記録に残し、広く後世に伝承します。

また、関係機関の協力をいただきながら、三国交通発祥記念碑の改修を予定しているほか、既存イベントを400周年記念の冠事業として開催し、参加者はもとより、新聞・テレビ等の取材を通じて、多くの方々に歴史的・文化的財産を伝え、さらに関係国との親睦を深める交流事業に取り組みます。



メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業企画実行委員会の設立

今から400年ほど前の1609年に、ガレオン船サン・フランシスコ号が田尻沖（御宿町岩和田地先）で座礁し、当時の岩和田村民が総出で救出にあたり無事に帰還させたという史実があり、この史実が日本・スペイン・メキシコの交通発祥のきっかけとなりました。

こうした人類愛溢れる先人たちの偉業は、御宿町民の誇りであり、町では、このすばらしい歴史的・文化的財産を後世に語り継ぐことはもちろん、単に町の歴史的偉業に止めることなく、日本人の誇りとして、多くの方に伝承しながら、全国、そして世界へと発信していきたいと考えています。

こうしたなか、町議会、町内各種団体の代表者、学識経験者、地域住民など、メキシコとの交流への想いを強く持つ方、町を活性化させたい熱意のある方が集まり、企画実行委員会を設置したところです。400周年を迎えた今、史実の伝承と新たな国際交流の進展をコンセプトとし、企画実行委員会が主体となって事業を進めることから、行政はコーディネーター役となり、また事業の具体的な実施にあたっては、住民や各種団体、さらには民間企業など、積極的に協力していただける方の参加を可能としております。

こうした取り組みは、行政間や限られた一部の人間では十分な成果は期待できず、多くの方々にこのすばらしい史実を知っていただき、多角的分野から発信することで新たな交流が芽生えてくるものと考えます。多くの方の理解とエネルギーによって、交流の輪を広げ、人類愛の美談を伝承していけるような仕掛けづくりに取り組みます。

メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業企画実行委員会名簿（順不同）

氏名	区分	備考
石田 義 廣	町長	委員長
新 井 明	議会議長	副委員長
佐 藤 和 己	教育長	
松 崎 啓 二	町議会議員	
白 鳥 時 忠	町議会議員	
佐 藤 晋	区長会長	
後 藤 滋	岩和田区長	
本 吉 和 之	商工会長	
小 川 豊	商工会青年部	
入 江 光 男	商店振興会長	
大 野 吉 弘	観光協会長	
畑 中 英 男	御宿岩和田漁業協同組合長	
吉 清 文 夫	国際交流協会副会長	
岩 瀬 拓 弥	青年団体連絡協議会副会長	
斎 藤 泰 夫	老人クラブ連合会会長	
丸 山 祝 子	子供会育成会長	
関 正 夫	学識経験者（千葉銀行）	
斉 藤 弥四郎	学識経験者（御宿小学校）	
大 野 幹 雄	学識経験者	
滝 口 雅 子	学識経験者	
古 川 範 男	学識経験者	
目 羅 正 行	学識経験者	
養 老 正 也	学識経験者	
米 本 弘 夫	学識経験者	
浅 野 玄 航	学識経験者	
加 田 政 和	学識経験者	
木 村 三津男	学識経験者	
古 山 忠 夫	一般公募委員	
土 屋 武 彌	一般公募委員	



メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業 企画実行委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、サン・フランシスコ号漂着から400年を迎えるにあたり、史実を振り返り、地域の歴史・文化の伝承と住民協働による地域振興を目的に、メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業企画実行委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業に係る総合的な企画及び運営に関すること。
- (2) メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業に係る委員会の予算および決算に関すること。
- (3) メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業に係る関係機関との連絡調整に関すること。
- (4) その他メキシコ記念塔建立80周年、サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業に関すること。

(委員)

第3条 委員会の委員は、次に掲げるものから構成し、組織する。

- | | | |
|-----------|-------------|-------|
| (1) 町特別職等 | 町長、教育長、 | |
| (2) 町議会議員 | 議会議長、議会議員 | 2名 |
| (3) 住民代表 | 区長会 | 1名 |
| | 岩和田区 | 1名 |
| | 商工会 | 1名 |
| | 商工会青年部 | 1名 |
| | 商店振興会 | 1名 |
| | 観光協会 | 1名 |
| | 御宿岩和田漁業協同組合 | 1名 |
| | 国際交流協会 | 1名 |
| | 青年団体連絡協議会 | 1名 |
| | 老人クラブ連合会 | 1名 |
| | 子供会育成会 | 1名 |
| | 学識経験者 | 10名以内 |
| | 一般公募委員 | 5名以内 |

(任期)

第4条 委員の任期は平成22年3月31日までとする。
2 委員が欠けた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 監事 2名
- 2 委員長は町長をもって充て、副委員長は議会議長をもって充てる。
3 監事は、委員のうちから互選する。
4 委員長は委員会を代表し、会務を総括する。
5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはこれを代理する。
6 監事は会計を監査する。

(委員会の開催)

第6条 委員会は委員長が招集し、委員長が議長となる。
2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
3 委員会は、必要に応じて小委員会、作業部会を置くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局を総務課、企画財政課、産業観光課、町教育委員会、商工会、観光協会に置く。
2 委員会の庶務は、企画財政課において行う。

(財務)

第8条 委員会の事業経費は、町負担金の収入をもってこれに充てる。
2 委員会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、その他必要な事項は委員長が会議に諮って決める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、公示の日から施行する。

(失効)

2 この要綱は、平成22年3月31日限り、その効力を失う。

附 則(平成20年2月28日告示第5号)

この告示は、平成20年2月28日から施行する。

附 則(平成21年2月20日告示第5号)

この告示は、平成21年2月20日から施行する。

附 則(平成21年4月15日告示第20号)

この告示は、平成21年4月15日から施行する。

日西墨400年の歩み

～ メキシコ・スペインとの友好親善 ～

- 1609.9.30 (慶長14年) サン・フランシスコ号岩和田田尻沖で暴風雨のため座礁。スペイン領フィリピン総督ドン・ロドリゴ一行373名、56名溺死、317名を岩和田村民が救助。大多喜城主・本田忠朝の明断により遭難者を37日間、岩和田大宮寺に滞在、村民の手厚い保護を受けた後、将軍秀忠、駿府の家康に謁し、1610年家康が三浦按針に建造させた船によりメキシコ(アカプルコ湾)へ帰国。
- 1611 (慶長15年) 答礼使ビスカイノの来日、1613年支倉常長のメキシコ・スペイン・ローマ特派などの一連の史実は岩和田村民の心意気に端を発するもの。
- 1928.10.1 日西墨三国交通発祥記念之碑建立(岩和田轟台)高さ17メートル鉄筋コンクリート造り大理石張り。徳川公爵の題字、スペイン国王の御親筆、メキシコ大統領のメッセージが青銅で鑄造。(設計者 美術学校教授金沢庸治 施工者 式田建設株式会社) 除幕式には駆逐艦2隻、空からメッセージが投下された。その後第二次世界大戦に目標となるというので軍部からの命令で黒くぬりつぶされる。
- 1958.11.27 終戦以来朽ち果てていた塔が白亜の塔に改修。スペイン大使・メキシコ副領事の参列により竣工式が行われる。(工事費810,495円 諸経費223,559円) (メキシコ記念公園の概要) メキシコの人々と御宿町民の永久の友愛を象徴する公園であり周囲の石垣は日本の城、メキシコのピラミッドのように1000年2000年の歴史にたえられるものにと設計された。
- 1975.6.28 井桁三郎氏(南総郷土史研究会 茂原市在住)農業視察でメキシコを訪問の際、岩井敏夫町長はアカプルコ市長あてのメッセージを託す。町長のメッセージに感銘を受けたアカプルコ市長からアカプルコ市の紋章が贈られる。メキシコ大使館バート参事官から手渡される。紋章には「先はアカプルコから 友好の記し」と表現されている。
- 1976.9.8～9.18 商工会青年部御宿 アカプルコ友好親善民間使節団一行12名が訪墨、アカプルコ市長を表敬訪問。メキシコ在住の東信行氏の尽力により独立記念祭に大統領に接見。「アカプルコ・御宿港湾姉妹都市」の町長あてメッセージを託される。
- 1977.10.2 駐日メキシコ大使ハビエル・オレア・ムニョス閣下一行24人が記念碑を訪れ。メキシコ塔改修の大理石を本国大統領から贈呈してくれるよう依頼。
- 1977.12.13 メキシコ政府の意向により塔改修よりメキシコ風庭園を造るべき資金援助を約束される。
- 1978.1.17 メキシコ国から建設大臣顧問建築技師ホルヘ・カンブサーノ氏来町し公園整備の打ち合わせが行われる。
- 1978.3.3 日本政府がメキシコ国に贈った漁業訓練船オンジユク丸の引渡し式が、三重県伊勢市で行われ、岩井町長が出席。
- 1978.5.28 御宿海のカーニバルを開催、メキシコ大使のご厚意によりマリアッチが参加
- 1978.7.31～8.12 第15回国際姉妹都市会議がメキシコ・クエルナバカ市で開催、岩井町長、岩崎栄一郎議長が出席。
- 8.7 アカプルコ市と姉妹都市協定を締結。ホセ・ロペス・ポルティエリョ大統領を表敬訪問。
- 1978.9.7～9.19 商工会青年部友好親善民間使節団訪墨、一行12名、大統領アカプルコ市長を表敬訪問。
- 1978.11.1 ホセ・ロペス・ポルティエリョ大統領来町。完成したメキシコ公園でテープカット。青年団のかつく神輿にませ歓迎。
- 1979.2.11 ロドリゴ駅伝(夷隅一週駅伝)を開催(以来毎年2月に開催)
- 1982.4 アカプルコ委員会が発足(友好親善の推進)



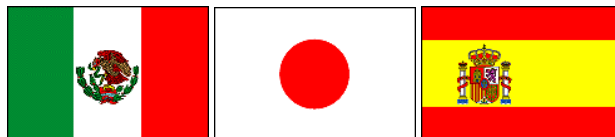


- 1985.8.10 ~ 11 アカプルコ市長一行 14 名が来町
1985.10.24 9.19 メキシコをマグニチュード8.2 という大地震が襲い、渡辺委員長 (岩和田区長) がアカプルコ災害救援特別委員会からの義援金をメキシコ大使に手渡す。個人 2,208 名、25 団体、186 万 1,728 円。
- 1988.7.18 日墨修好百周年記念式典が都内で開催。宇野外務大臣からメッセージを託される。
- 1988.8.3 ~ 8.5 マリガランテ号寄港 日墨修好百周年を記念してアカプルコ湾を出発して日本を訪れた。船長ビダル・アルサル船長から滝口町長へ航海安全の守り神マーメイドが贈られる。
- 1988.9. 7 ~ 9.18 メキシコ友好親善視察使節団 滝口町長団長 16 名参加、ロペス元大統領、ペドロ・オヘダ漁業大臣、レオドレス・ルイス大統領補佐官に謁見。アカプルコ市長イスラエル・サベラニス・ナグエダ氏を表敬訪問。
- 1988.10.16 ~ 17 メキシコ文部省親善訪問団、アントニオ・エルナンデス小学校局長を団長とする13名が来町。御宿小学校で公開授業の見学や音楽集会で児童交流が繰り広げられる。
- 1989.10.11 ~ 10.22 メキシコ友好親善使節団 団長佐藤高二議会議長 総勢 15 名参加
- 1990.10.15 ~ 10.24 アカプルコ友好親善視察使節団 団長吉田庸二収入役 総勢 14 名参加
レネ・ボアレス・アカプルコ市長を表敬訪問。
- 1992.7.16 メキシコ・ラサール大学エスツー・ディアンティーナ合唱団、日本とメキシコの文化交流使節団来町。月の沙漠記念館屋外ステージでコンサート開催。
- 1994.7.23 アチャイ・メキシコ民族舞踊団御宿公演がラビドールホールで開催。
- 1994.7.27 ~ この年から毎年メキシコ少年野球団ホームステイを受け入れる。
- 1996 .8 ロペス通り記念碑建立
- 1997.10. 4 ~ 5 御宿町商工会主催「メキシコ輸入品フェア」を開催
- 1997.10.13 ~ 10.22 アカプルコ姉妹都市友好親善使節団 伊藤町長 団長 総勢 17 名参加
アカプルコ市長に表敬訪問をし、アカプルコ市内に御宿 アカプルコ記念碑の建立を依頼する。
- 1998.7.19 日西墨三国交通発祥之碑建立 70 周年記念式典開催。ウンベルト・コラルアカプルコ市長代理、エンリケモラーレス駐日メキシコ大使館報道官、沼田県知事、森英介衆議院議員参加。
- 1999.1.28 ~ 2.13 メキシコ現地視察研修 (職員海外研修派遣)
日・墨国際交流に息づく御宿 (メキシカンビレッジ) 基本構想に関する基礎資料の収集、姉妹都市交流の充実 (アカプルコ市長表敬訪問)、メキシコ製品の市場調査等のため、プロジェクト委員会から職員 2 名派遣
- 2002.3 メキシコ記念公園休憩所の改修 (千葉県 関東ふれあいの道整備)
- 2003.3 大宮寺発掘調査に着手
- 2004.7 アカプルコ使節団 (6 名) 来町 アカプルコ市長の親書を受領
- 2004.8.9 日本ともたち協会 (アカプルコ市民)アレックス他 5 名来町
- 2004.10.10 キンタナルー社会通信局員 6 名 来町
- 2005.3.24 アカプルコ市民、清水氏他 3 名来町
- 2005.9.15 アカプルコより清水氏他 4 名来町
- 2006.12 田辺光宏氏講演会開催
- 2007 .6 400周年記念事業企画実行委員会設置
- 2007.9.8 ~ 9 黒沼ユリ子料理教室・メキシコ文化交流会・ヴァイオリンリサイタル開催
(レイスカバーニャス・メキシコ大使ご夫妻 堂本知事他)
- 2008.10.4 川上ミネ ピアノコンサート開催
(セゴビア・スペイン公使 他)
- 2008.10.5 「伊勢えび祭り」・ふるさと満喫フェア (国際交流編) (千葉県)を開催
(レイスカバーニャス・メキシコ大使ご夫妻 セゴビア・スペイン公使他)





ホセ・ロベス・ポルティエーリョ メキシコ大統領来町（1978年11月）



日西墨三国交通発祥記念之碑建立80周年
サン・フランシスコ号漂着400周年記念事業企画実行委員会

400年にわたる友好の絆

～サン・フランシスコ号漂着400周年～



月の沙漠記念館

記念公募展の作品展示を行うほか、産業・文化の交流拠点として、幅広く活用。

御宿中学校

道徳授業を通じた史実の伝承や給食での食文化の交流を図る。

御宿町公民館

生涯学習・地域交流の拠点として、講演会や各種文化活動を実施。

歴史民俗資料館

ガレオン船の模型や民芸品、さらには史実に因んだ数々の資料を展示し、先人の偉業を広く発信。

ライフセービング大会

人命救助の原点とも言える史実の発祥地として、毎年、全日本学生ライフセービング大会等を開催。

日西墨三国交通発祥記念之碑
(通称：メキシコ記念塔)

表面には徳川公爵の題字、側面にはスペイン国王の親筆、メキシコ大統領のメッセージがはめ込まれている。先人の偉業を讃える御宿町民の心のシンボルであり、建立から80周年を迎える今、景観補修及びバリアフリー整備を計画。

少年野球ホームステイ

'94年からメキシコ少年野球ナショナルチームのホームステイを継続的に受け入れ。互いに異文化に触れ合う地域・家族単位での交流に発展。

大宮神社

ドン・ロドリゴが江戸へ向け出発するまでの37日間を過ごしたと言われる大宮神社。

岩和田の街並み

400年前の人類愛溢れる出会いの地・岩和田の現在の街並み。

田尻海岸

ドン・ロドリゴ一行が漂着した地(現御宿町岩和田)。千葉県史跡に指定。